

「良い季節になりました」

校長 桑島 宏明

この四月に新川高校から着任いたしました桑島と申します。よろしくお願いいたします。

四月を迎える時の心境は大人になった今でも期待と不安が入り混じります。高校に入学する一年生、学年が上がりクラスの変わる二、三年生、新たな年度を始めるときというのは大きく環境が変わる時でもあります。今年はどのような仲間に出会えるのだろうか？ 学校生活はどのように変化するのだろうか？ 自分は新しい集団の中で受け入れてもらえるのだろうか？ 自分を理解してくれる人がいなかったらどうしよう？ 期待と不安では、不安の方が勝り、入学式、始業式を迎えるまではドキドキした日々を過ごします。しかし始まってみると大抵の不安は間もなく解消され、新たな目標に向かっての一年が始まります。皆さんは、これまで何度もこのような経験をし、それを乗り切っていたという経験が、今年もこの春の不安を乗り切るパワーとなるのだと思います。

一方、不安が拭いきれずに新年度がスタートしてしまっただらうしたら良いのでしょうか。そのような時は無理をしないことです。静かに新年度をやり過ごし不安な気持ちが落ち着くのを待ちましょう。それでも不安な気持ちが続いていけないときは、誰かに相談しましょう。友達、保護者、先生、誰でも良いのです。相談して自分の気持ちを吐き出し、落ち着ける術を身につけましょう。

コロナ禍に見舞われた三年間でしたが、令和五年度は少し違う風が吹きそうな気配が漂います。日常が戻り、すべての活動が制限なく行うことができる日々が戻ることを期待し、新たな年度を、希望を持って迎える喜びを感じながら毎日を過ごしています。この一年で、一歩成長した時分に出会うことができるように。啓北商業の教職員は、皆さんを応援しています。